

ワイヤレスブロードバンド推進研究会への具体的システムの提案募集結果について

提案募集概要

今後具体的に計画又は想定しているワイヤレスブロードバンドのシステム並びにその具体化に必要な周波数帯及び周波数幅等

提案募集期間

平成17年4月14日(木)～5月20日(金)

提案募集結果

44社から72提案

・第4世代移動通信システム・第3世代携帯電話等 (利用シーン1)	10 提案
・モバイルオフィス・モバイルホーム(利用シーン2)	21 提案
・無線LAN (利用シーン3)	5 提案
・ワイヤレスADSL(FWA) (利用シーン4)	16 提案
・次世代情報家電 (利用シーン5)	3 提案
・安心・安全ITS (利用シーン6)	11 提案
・防災、災害対応 (利用シーン7)	3 提案
・その他	3 提案

ワイヤレスブロードバンドの利用シーン (参考)

研究会中間報告において、おおむね5～10年後のワイヤレスブロードバンドの利用シーンを以下のとおり想定

(1)利用シーン1

ユーザーは何処で使えるかを全く意識しなくてよく、また、一度接続されると、車中のような移動中を含めどのような状態においても一定の通信品質が確保されるサービスを楽しむ。

(2)利用シーン2

日常の行動範囲内であればどこであろうと、自宅や職場から持ち出したパソコンをブロードバンド環境でストレス無く同様に使用することができるサービスを楽しむ。(モバイルホーム、モバイルオフィス)

(3)利用シーン3

ある特定地点でのみで利用可能であることを意識して利用するものであり、そこに行けば簡単にかつ多様なブロードバンドサービスを楽しむ。

(4)利用シーン4

有線によるブロードバンドの提供が困難な家、職場、施設等において、有線と同等に近い条件でブロードバンドサービスを楽しむ。

(5)利用シーン5

近距離にある無線機器同士が自動的に最適なネットワークを構築し、利用者が機器同士の通信を意識することなくこれを利用。

(6)利用シーン6

移動する無線機器同士が自動的に瞬時にかつ優先的にネットワークを構築し、利用者が機器同士の通信を意識することなくこれを利用。

(7)利用シーン7

災害等の非常時に、通信システムを選ばず、確実に必要最小限の情報のやり取りをすることが可能。

具体的なシステムの提案募集の結果一覧(暫定版)

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン							所属
														その他	
利用シーン1	1-1	移動体ブロードバンドワイヤレスアクセスシステム(MBWA: IEEE802.20 Flash OFDM)	高速移動体における高速データ通信を可能とする、ブロードバンドワイヤレスWANシステム(Flash OFDM)を導入する。	2006年	400MHz帯 ~ 3.5GHz帯 (100MHz)	1Mbps ~ (DL) 300kbps ~ (UL)	IEEE802.20								シーメンス(株)
	1-2	WCDMA拡張マルチキャリアシステム(Evolved WCDMA)	WCDMA拡張マルチキャリアシステムを導入する。	2008年	700MHz ~ 3GHz帯 (60MHz x 2)		WCDMA								クアルコムジャパン(株)
	1-3	cdma2000拡張マルチキャリアシステム(Evolved cdma2000)	cdma2000拡張マルチキャリアシステムを導入する。	2008年	700MHz ~ 3GHz帯 (60MHz x 2)		cdma2000								クアルコムジャパン(株)
	1-4	次世代移動通信システム(3G LTE及び4G)	第4世代移動通信システム、及び、第3世代から第4世代への過渡期において第4世代移動通信システムの機能の一部を先取りしたシステムを導入する。	2010 ~ 2015年	~ 3GHz帯 (~ 40MHz)、 ~ 6GHz帯	100Mbps ~ 1Gbps	3G LTE、 4G								富士通(株)
	1-5	B3G Wireless Broadband System	固定から高速移動体までに対応した、音声サービスも可能な無線インターネット高速アクセスシステムを導入する。	2007 ~ 2012年	2 ~ 6GHz帯(1GHz)	~ 100Mbps	B3G								日本電気(株)
	1-6	第4世代移動通信システム	IPネットワークへの接続を前提とした、高速移動時にも広帯域伝送を可能とする第4世代移動通信システムを導入する。	2010年頃	3.4 ~ 4.2 / 4.4 ~ 4.9GHz帯	100Mbps ~ 1Gbps	4G								(株)NTTドコモ
	1-7	第3世代移動通信システムおよび高度化システム	HSDPA、HSUPA、Evolved UTRA and UTRAN(Super3G)等の機能により、W-CDMAシステムを更に高度化したシステムを導入する。	2006 ~ 2010年	1.7GHz帯及び2.5GHz帯(約330-340MHz)、1.5GHz帯も候補として想定	100Mbps	IMT2000								(株)NTTドコモ
	1-8	新世代移動通信システム(SCS-MC-CDMA(Sub-carrier Selecting MC-CDMA))	ユーザの伝送速度に応じてサブキャリアを可変に割り当てることにより、異なるサービス要求条件のユーザを収容しつつ高い周波数利用率を実現するSCS-MC-CDMA方式の移動通信システムを実現する。	2010年頃	3 ~ 5GHz帯(100MHz ~)		MC-CDMA								ソフトバンクBB(株)
	1-9	広帯域TD-CDMA(7.68Mcpsシステム / 15.36Mcpsシステム)	TD-CDMAをベースとして、広帯域化、MIMO技術等を用いた高速無線アクセスのシステムを実現する。	2006 ~ 2007年頃(標準化)	2.5GHz帯(70MHz)		TD-CDMA								アイピーモバイル(株)
	1-10	Evolved WCDMA/HSDPA/HSUPA(Super3G)	機能を拡張させたHSDPA、HSUPA等により、W-CDMAシステムを更に高度化したシステムを実現する。	2009年頃	3 ~ 6GHz帯(855MHz)	~ 100Mbps(DL)、 ~ 50Mbps(UL)	B3G								イー・アクセス(株)

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン							所属	
														その他		
利用シーン2	2-1	無線LAN、無線MANによるデータ通信、及び音声通信サービス	広いエリア向けにはWiMAX (IEEE802.16/16e) を、狭いエリア向けにはWiFi (IEEE802.11a/b/g/n) を用いて、無線データ通信サービス、及びVoIPを利用した移動体通信サービスを全国規模で提供する。	2005年夏期	2.4 / 4.9 / 5.2GHz帯 (20MHz × 4 ~ 8)		IEEE802.16/16e、IEEE802.11a/b/g/n									平成電電(株)
	2-2	加入者系高速無線アクセスシステム	WiMAX (IEEE802.16e) を用いて、移動体にも対応できる加入者系高速無線アクセスのサービスを提供する。	2006年度後半 ~ 2007年度頃	2.5 / 3.5GHz帯 (20MHz)		IEEE802.16e									関西電力(株)
	2-3	ブロードバンドワイヤレスMANシステム IEEE802.16: WiMAX (World-wide interoperability for Microwave Access)	連続した広いエリアをカバーし、高速移動体にも対応できる高速無線アクセスシステム (WiMAX (IEEE802.16-2004/16e)) を導入する。	2005年上半期 ~ 2006年中頃	700MHz帯、2.5 ~ 2.69GHz帯、3.4 ~ 3.6GHz帯、5.725 ~ 5.85GHz帯	15Mbps/5MHz/バンド幅(16e)	IEEE802.16									シーメンス(株)
	2-4	MBWA(Mobile Broadband Wireless Access) 「フラッシュOFDM」 IEEE802.20	携帯電話のように、いつでもどこでもブロードバンドでのインターネット利用を可能とする無線アクセスシステム (Flash OFDM (IEEE802.20)) を導入する。	(周波数確保次第)	400MHz ~ 3.5GHz帯 (1.25 / 5MHz)		IEEE802.20									フラリオンテクノロジーズinc.
	2-5	WiMAXによるワイヤレスMANシステム	WiMAX (IEEE802.16-2004/16e) を用いた無線MANシステムを導入する。	2007 ~ 2008年	2.5GHz帯 (30MHz)、3.5GHz帯 (15MHz)		IEEE802.16									インテル(株)
	2-6	高速ワイヤレスインターネットシステム	ブロードバンドを無線化することにより、屋外においても高速なインターネットサービスを提供する。	2007年 ~	~ 3GHz帯 (80 ~ 100MHz)		IEEE802.16、1xEV-DO									(株)日立製作所
	2-7	IEEE802.16e (Portable & Mobile)	IEEE802.16eをベースとした、モバイルコンピューティングを可能とする無線アクセスシステムを導入する。	2007年 ~	~ 3GHz帯 (~ 20MHz)	~ 75Mbps	IEEE802.16e									富士通(株)
	2-8	ノマディック・ブロードバンド・アクセス (WiMAXを利用した、利用者が意識しない無線ブロードバンドアクセス)	WiMAXと既存の無線システム (無線LAN、携帯電話/PHS等) と組み合わせることで、利用者が意識せず使用可能なノマディック高速無線アクセスのサービスを提供する。	2006 ~ 2007年	2.5 / 3.5 / 5GHz帯 (100MHz)		IEEE802.16									(株)パワードコム
	2-9	ポータブルブロードバンドワイヤレスアクセスシステム	IEEE802.16eをベースとした、携帯電話に準じるポータビリティで有線ブロードバンド並みのスループットを達成する無線アクセスシステムを導入する。	2007年度	~ 3GHz帯 (80MHz)		IEEE802.16e									三菱電機(株) / テクセル(株)
	2-10	IEEE802.20規格を用いたモバイルブロードバンドシステム	いつでもどこでもブロードバンドでのインターネット利用を可能とする無線アクセスシステム (Flash OFDM (IEEE802.20)) を導入する。	(周波数確保次第)	400MHz ~ 3.5GHz帯 (1.2 ~ 5MHz)		IEEE802.20									伊藤忠テクノサイエンス(株)

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン							所属
														その他	
利用シーン2	2-11	IPv6をコアとするIPv4を含むデュアルサービスの提案を可能とする、ワイヤレスブロードバンド網の整備とWiMAXを用いた屋外における救急医療支援システムの構築	WiMAXを用いて、屋外での応急手当において電子カルテの参照を可能とするシステムを実現する。	2005年12月	4.9GHz帯(10 / 20MHz)		WiMAX								(株)鷹山
	2-12	IPv6をコアとするIPv4を含むデュアルサービスの提案を可能とする、ワイヤレスブロードバンド網の整備とWiMAXを用いたインタラクティブビデオチャットシステムの構築	WiMAXを用いて、屋外でも利用可能なビデオチャットのサービスを提供する。	2005年12月	4.9GHz帯(10 / 20MHz)		WiMAX								(株)鷹山
	2-13	IEEE802.16e based Portable Broadband Wireless Access System	IEEE802.16eをベースとした、ベストエフォート又は帯域保証等のいずれのサービスにも対応可能な無線アクセスシステムを導入する。	(周波数確保から2年)	2.5 / ~3GHz帯(20MHz × n)	1 ~ 15Mbps	IEEE802.16e								モトローラ(株)
	2-14	Portable Internet System	IEEE802.16eを用いて、比較的安価にいつでもどこでも移動中でもブロードバンドでのインターネット利用を可能とする無線アクセスシステムを導入する。	2006年4月頃	2.3 / 2.5 / 3.5 / 5.8GHz帯(10 / 20 MHz)	512kbps ~ 3Mbps(DL)	IEEE802.16e								三星電子(株)
	2-15	WiMAX新世代移動通信システム(IEEE802.16e)(Worldwide Interoperability for Microwave Access)	WiMAX(IEEE802.16e)を用いて、移動体にも対応できる加入者系高速無線アクセスのサービスを提供する。	2006年頃	770MHz/2.3/2.5/3.5/5.8GHz帯(1.25 ~ 20MHz × n)		IEEE802.16e								ソフトバンクBB(株)
	2-16	PHSベースTDD方式Wireless Broad Bband System	PHSをベースとして、OFDM、MIMO技術、高度符号化等を用いた高速無線アクセスのシステムを実現する。	~2010年頃	1.9 / 2 / 2.5GHz帯(68 ~ 97MHz)		PHS								(株)ウィルコム
	2-17	PIMS (Portable Internet Multimedia-System)	ブロードバンドを無線化することにより、屋外においても高速なインターネットサービスを提供する。	2008年以降	~3GHz帯(95MHz程度)		IEEE802.16e								KDDI(株)
	2-18	移動体ブロードバンドワイヤレスアクセス(MBWA)	IEEE802.20を用いて、高速移動体にも対応できるインターネットサービスを提供する。	2006年~	450 / 700 ~ 900MHz / 2.3 / 2.5GHz帯(20MHz × 2)	数Mbps ~ 十数Mbps	IEEE802.20								日本テレコム(株)
	2-19	IEEE802.16e技術を用いたモバイルブロードバンドサービス	比較的広いエリアにおいて、モバイルセントレックス等が可能なIEEE802.16eのシステムを導入する。	2007年中頃~	UHF帯、2.5 / 3.5 / 5.8GHz帯		IEEE802.16e								フュージョン・コミュニケーションズ(株)
	2-20	Mobile WiMAX (IEEE802.16e)	モバイルWiMAX(IEEE802.16e)を導入する。	2009年頃	~6GHz帯(445MHz)	~75Mbps	IEEE802.16e								イー・アクセス(株)
	2-21	iBurst Mobile Broadband System	空間多重技術を活用したIEEE802.20システム(iBurst)を導入する。	(周波数確保から半年)	1.5-2.4GHz 5MHz	~1Mbps	IEEE802.20								OAK Global LLC

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン										所属	
利用シーン3	3-1	802.11n 無線LANシステム	IEEE802.11n無線LANシステムを導入する。	2006年11月(標準化)	2.4～5GHz帯(200MHz)	100Mbps～	IEEE802.11n											クアルコムジャパン(株)	
	3-2	高速無線LAN	IEEE802.11n無線LANシステムの次の世代の高速無線LANシステムを導入する。	2010年以降	5GHz帯(300MHz)	～1Gbps	IEEE802.11、IEEE802.22											(株)日立製作所	
	3-3	NWA(Nomadic Wireless Access)システム	屋外において、5GHz帯無線LANのサービスを提供する。	2005～2006年	5GHz帯(20MHz)	数Mbps～100Mbps	IEEE802.11j											日本テレコム(株)	
	3-4	列車ブロードバンドワイヤレスアクセス	列車内において、ブロードバンドのサービスを提供する。	2006～2007年以降	2.5 / 3～5GHz帯(20MHz×4)	数Mbps～100Mbps	IEEE802.11、IEEE802.20											日本テレコム(株)	
	3-5	無線LAN技術を利用したエンタープライズ向けワイヤレスブロードバンドサービス	モバイルセントレックス等が可能な5GHz帯無線LANのシステムを導入する。	2006年前半	5GHz帯(20 / 40 / 80MHz)		IEEE802.11											フュージョン・コミュニケーションズ(株)	
利用シーン4	4-1	光無線通信システム	光波を用いるために周波数帯域の制限を持たず、低コストで短期間に大容量回線を設置可能な光無線通信システムを導入する。	(既に実用化済み)	光帯域(波長0.78μm、1.55μm)	1Gbps	(光無線通信)											キャノン販売(株)	
	4-2	こちプロジェクト	WiMAXを用いて、地域住民の多様なニーズに対応してきめ細かい情報を提供するサービスを、複数の地域において産学官等の連携により実施する。	2005年4月(実験) 2008年頃(商用)	3.5GHz帯(10 / 20MHz)、 2.5GHz帯(5MHz)		WiMAX											NPO法人日本サステイナブル・コミュニケーションセンター	
	4-3	WiMAXによる遠隔地向けワイヤレスブロードバンドシステム	異なるメーカー同士の接続が保証され、安価な遠隔地向け無線アクセスシステム(WiMAX(IEEE802.16-2004))を導入する。	2005年後半～	3.4～3.6GHz帯(1.75 / 3.5 / 7 / 10 / 20MHz)		IEEE802.16-2004											(株)エグゼ	
	4-4	光無線通信システム - 屋外 / 屋内光無線通信 -	光波を用いるために周波数帯域の制限を持たず、大容量回線を容易に設置可能で、秘匿性に優れた光無線通信システムを導入する。	(既に実用化済み)	光帯域	1Gbps	(光無線通信)												光無線通信システム推進協議会(ICSA)
	4-5	IEEE802.16-2004(Fixed & Nomadic)	IEEE802.16-2004をベースとした、ノマディック又は固定の無線アクセスシステムを導入する。	2006年後半～	～11GHz帯(～20MHz)	～75Mbps	IEEE802.16-2004												富士通(株)
	4-6	WiMAX無線アクセスサービス	WiMAXを用いて、都心部において高速FWAのサービスを提供する。	2005年12月～	2 / 4.95GHz帯(～20MHz)		IEEE802.16												(株)NTTPコミュニケーションズ

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン										所属			
																				その他	
利用シーン4	4-7	インターネットバックボーン中継回線	条件不利地向けにインターネットバックボーン中継回線を提供するC帯又はKu帯の衛星システムを導入する。	2005年度後半～	4 / 6 / 12 / 14GHz帯 (60MHz)		(衛星通信)														ジェイサット(株)
	4-8	インターネット加入者回線	条件不利地向けにインターネット加入者回線を提供するKu帯の衛星システムを導入する。	2006年度～	12 / 14GHz帯 (60MHz)		(衛星通信)														ジェイサット(株)
	4-9	海洋ブロードバンド	船上地球局向けにインターネット加入者回線を提供するC帯又はKu帯の衛星システムを導入する。	2005年度以降	4 / 6 / 12 / 14GHz帯 (30MHz)		(衛星通信)														ジェイサット(株)
	4-10	IPv6をコアとするIPv4を含むデュアルサービスの提案を可能とする、ワイヤレスブロードバンド網の整備とWiMAXを用いた都市部でのデジタルディバイド状況の解消	WiMAXを用いて、都市部の条件不利地向けに高速無線アクセスのサービスを提供する。	2005年12月	4.9GHz帯 (10 / 20MHz)			WiMAX													(株)鷹山
	4-11	IEEE802.16-2004 based Fixed Broadband Wireless Access System	IEEE802.16-2004をベースとした、ベストエフォート又は帯域保証等のいずれのサービスにも対応可能な無線アクセスシステムを導入する。	(周波数確保次第)	2.5 / 3.3 ~ 3.4 / 4.9GHz帯 (20MHz × n)	~ 70Mbps		IEEE802.16-2004													モトローラ(株)
	4-12	FDD方式低マイクロ波帯無線アクセスシステム	W-CDMAをベースとした、都市部における固定の無線アクセス又はノマディックアクセスシステムを導入する	2006年4月～	2.5 / 3 ~ 4GHz帯 (5MHz × 2)	~ 12Mbps(DL)		DS-CDMA													三洋電機(株)
	4-13	MP-MP型FWAシステム	マルチホップ型のFWAシステムをメッシュ状やツリー型に配置し、MP-MP型のネットワークを構成するシステムを導入する。	(数年以内)	~ 10GHz帯 (80MHz)																KDDI(株)
	4-14	ワイヤレスアクセスシステム(802.16)	IEEE802.16を用いて、条件不利地向けにブロードバンドのサービスを提供する。将来的には、移動環境下も含めたブロードバンド環境の提供も行うことを想定。	2006～2007年	2.3 / 3 ~ 6GHz帯 (20MHz × 2 × n)	数Mbps ~ 75Mbps		IEEE802.16													日本テレコム(株)
	4-15	光無線通信システム	光波を用いるために干渉が少なく、秘匿性に優れた光無線通信システムを導入する。	(既に実用化済み)	光帯域	1Gbps		(光無線通信)													ビル間高速光空間通信網推進協議会(OBN)
	4-16	iBurst(アイバースト)	空間多重を活用したANSI T1P1、IEEE802.20(HC-SDMA又はiBurst)システム	2005年末	~ 2.5GHz帯 (5 ~ 20MHz)	24.4 Mbps/5MHz(DL), 8.0 Mbps/5MHz(UL) 1.061 Mbps/User(DL), 0.346 Mbps/User(UL)		ATIS ANSI T1P1、IEEE802.20													京セラ(株)

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン							所属
														その他	
利用シーン5	5-1	UWBによる近接機器のケーブルレス接続システム	UWBを用いた、AV機器の無線接続システムを導入する。	2006年度	3.1～10.6GHz(1.8GHz～)	110 / 200 / 480Mbps	UWB								(株)日立製作所
	5-2	UWB無線測位を利用した物品管理システム	測位機能を有したUWBを用いた、屋内の物品管理システムを導入する。	2007年度	3.1～10.6GHz(1.8GHz～)	数百kbps～数Mbps	UWB								(株)日立製作所
	5-3	無線を利用したホームネットワークシステム	初期設定、機器の追加等が容易であって、品質保証した状態でAV機器等を相互に接続するシステムを導入する。	2007年頃	5GHz帯(750MHz～)		IEEE802.11n等								情報通信ネットワーク産業協会
利用シーン6	6-1	車車間通信を用いた安全運転支援システム	車両相互の衝突事故や、横断歩行者との衝突事故を未然に回避するため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2010年度以降	700MHz～1GHz帯(例えば770MHz帯等)、1.5～3GHz帯(例えば1.7GHz,2.4GHz帯等)、5.8～6GHz帯(例えば5.8GHz帯等)(30M～50MHz(複数帯域の指定可))		(ITS)								(社)日本自動車工業会
	6-2	車々間アドホック通信網	平時は車々間通信、非常時はP2P通信の中継を可能とする、車載無線機器による自律的な通信網を導入する。		(80MHz)		(ITS)								伊藤忠商事(株)
	6-3	79GHz帯ITS走行応用システム(レーダ、通信)	車両が周りの走行環境・状態を自立的に検知判断し、自車の走行意志(車線変更する等)とともに相互に通信することで安全性を向上するITS応用システムを導入する。	2010～2013年	79GHz帯(4GHz)		(ITS)								(株)日立製作所
	6-4	5.9GHz ITS無線通信システム	5.9GHz帯を専用周波数帯として、車々間・路車間通信を用いた、安全運転支援システムを導入する。	2010年頃	5.9GHz帯(80MHz)		DSRC								(株)日立製作所
	6-5	VHF帯ITS無線通信システム	様々な周波数帯におけるITSの各種無線メディアを制御し、不感地帯を解消するための無線通信システムを実現する。	2010年頃	170～222MHz帯(10MHz)		(ITS)								(株)日立製作所
	6-6	ITSシステム(車々間通信と路車間通信、レーダ)	車両相互の衝突事故や、横断歩行者との衝突事故を未然に回避するため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2007年	76～81 / 59～66GHz帯(2～3GHz)、5.8GHz帯(80MHz)	～100Mbps	(ITS)								富士通(株)
	6-7	路車間・車々間通信	車の安全に資する情報収集・提供を主な目的とし、路車間及び車車間通信を統合的に行うシステムを導入する。	2012年～	5.9GHz帯(75MHz)		IEEE802.11p								日本電気(株)

グループ	整理番号	システム名	概要	サービス導入希望時期	周波数帯域(帯域幅)	システムの伝送速度	関連する標準・システム	利用シーン										所属		
																			その他	
利用シーン6	6-8	インフラ協調(路車間/車車間通信利用)運転支援システム	車両相互の衝突事故や、横断歩行者との衝突事故を未然に回避するため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2010年以降	100～400MHz帯、 700～1GHz帯、 1.5～3GHz帯、 3～5GHz帯、 5.8～6GHz帯、 ミリ波帯		IEEE802.11p													トヨタ自動車(株)
	6-9	安全運転支援のための車車間通信システム	車々間相互の運転情報交換等のため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2008～2010年	5.8GHz帯(100MHz)		(ITS)													(財)日本自動車研究所
	6-10	車々間通信システム	車々間相互の運転情報交換等のため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2008～2010年頃	200MHz帯(4MHz～)、 5GHz帯(50～100MHz)		IEEE802.11p													沖電気工業(株)
	6-11	ブロードバンド車車間通信システム	車両相互の衝突事故等を未然に回避するため、通信技術を活用した運転支援システムを導入する。	2010年頃	5.7～5.9GHz帯(80MHz)		DSRC													(株)デンソー
利用シーン7	7-1	ミリ波帯移動体衛星通信システム	ミリ波帯の移動体衛星通信を用いて、磁気嵐又は核爆発時においても使用可能なインターネット等のブロードバンドを実現する。	2010年代	50 / 40GHz帯(2GHz)	100Mbps	(衛星通信)													(独)情報通信研究機構
	7-2	VHF帯ディザスターマネージメント無線通信システム	災害時に活用できる、基地局を要しないマルチホップアドホック無線通信システムを実現する。	2007～2010年頃	VHF帯(数十MHz)															(独)情報通信研究機構
	7-3	地上系非常災害通信システム(Public Safety, Public Protection and Disaster Relief system)	非常災害時でも確実に利用可能な地上系通信システムを実現する。		UHF帯(12MHz×2)、 5GHz帯(50MHz)	0.5～1Mbps	(地上系)													モトローラ(株)
その他	x-1	ワイヤレスブロードバンドのための新しいデバイスシステム	ミリ波帯におけるMEMSデバイスを開発する。		32GHz帯		(MEMS)													東京工科大学
	x-2	広域ワイヤレスデータシステム	広いエリアにおいて、各種の小型センサからの情報を無線で取得し、小型アクチュエータを制御する広域ワイヤレスデータシステムを実現する。	2007～2008年	150 / 280 / 430MHz帯等 (1MHz～)		(RFID、センサーネットワーク)													日本電信電話(株)
	x-3	無線IP汎用プラットフォーム	パケット交換技術、階層設計技術により、柔軟性の高い無線IP汎用プラットフォームを実現する。	2006年～	VHF帯(6MHz)、 VHF・UHF帯(12.5kHz×n)、 770MHz帯(36MHz)、 4.9GHz帯(100MHz)		-													ルート(株)

(は、主な利用シーン)

(~ は、その他の利用シーンを選択した場合のニーズ要素)